

令和2年度 事業所職員向け 放課後等デイサービス 自己評価表 (7/8人 回収)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		・利用者さん個々の特性を考慮しています。 ・同じような特性の利用者さんや活動毎に部屋を分けることができています。 ・園庭活用の工夫ができたなら更に良いと思います。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	3		・職員配置基準は満たしていますが、個別対応であったり送迎時間が重なることが多く、放課後等デイサービスの職員だけでは対応が難しい場合があります。 ・日ごと、時間ごとに利用者数が違い、それにより必要な職員数も異なるので調整が難しいです。併設施設との職員兼務やパートの配置も行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		7		・室内は概ねフラットになっています。 ・現在使用している入口には段差があるので、車椅子では直接乗り上げることはできません。（段差に手すりは設置しています。）来年度の検討課題とさせていただきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3	1	・職員会や日々の引継ぎで行うようにしています。 ・何をするにも職員間で話し合いを持ち、これからどうするのか、また結果どうだったのか等共有するようにしていますが、まだまだ不十分なところもあります。
	5	保護者等向け評価表等で保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	4	3		・保護者向け評価表の他に、事業所独自のアンケートをご家庭に配布し、利用者さんやご家族のニーズ等の調査をしました。 ・どうしても改善が難しい、また改善に時間がかかる案件につきましては、ご理解をいただくこともあります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			・法人（放課後等デイサービス事業所）のホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	6		・第三者による評価の仕組みはできていません。ボランティアや見学者の受け入れは積極的に行い、開かれた運営を心がけています。 ・事務部門（収支）は税理士からアドバイスを受けています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	4		・新型コロナウイルス感染症の影響により、研修の機会が減少しました。 ・書籍購入により資質向上を図りました。 ・新型コロナウイルスの感染状況を見ながらですが、外部講師を招いてのケース検討を2ヶ月毎に行っています。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5	2	・ご家族に聞き取りをしたり調査票を配布し、ニーズや要望等の確認をした上で個別支援計画を作成しています。 ・児童発達支援管理責任者（以後児発管という）が中心となって、職員間で話し合いをしています。管理者やパート職員の関りが少ないのが反省点です。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、アセスメントツールを使用しているか	2	5	・事業所独自のアセスメント表を用いて、利用者さんの状態の変化等が分かるようにしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	・職員会の中でプログラムを立てたり、イベントに関しては、担当職員が企画書作成、各職員に周知するようにしていますが、管理者の関りが少ないのが反省点です。
	12	充実したプログラムになるように工夫しているか	6	1	・利用者さんが楽しめるイベント企画を定期的に立案・実施をしています。 ・一日の中でも利用者さん個々に応じて課題を設定しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定して支援しているか	4	3	・利用者さんが飽きないようにし、少しでも楽しめるように静と動、室内や屋外の活動を交えながら設定しています。 ・児発管が中心となって職員間で話し合っていますが、管理者の関りが少ないのが反省点です。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	7		・集団活動は主に重度利用者さんに合わせた内容とし、個別活動は利用者さん個々の特性に合わせて課題を設定しています。 ・児発管が中心となって個別支援計画を作成していますが、管理者の関りが少ないのが反省点です。

供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・送迎や活動、その日の注意すべき点、関わり方の見直し等、その日の状況に応じて話し合いをしています。
	16	職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		・その日中に振り返りすることが難しい場合は、翌日の利用者支援前に行っています。 ・引継ぎノートにも必要事項を書き込んで共有化を図っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		・記録の取り方について、その都度職員同士声をかけ合うようにしていますが、支援の検証ということにおいてあまり活用はできていません。より振り返りしやすいように書式の見直しが必要だと思います。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		・児発管を中心に打ち合わせをしています。また相談支援専門員やご家族からの聞き取りを含め、個別支援計画に反映するようにしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	4	3		・新型コロナウイルスの影響もあり、地域交流はできていませんが、その他の活動は積極的に取り組むことができています。 ・事業所独自の保護者アンケートの結果によると、あまり地域交流を望んでいないことが分かりました。地域交流の機会の提供について、具体的にどうするか検討、詳細調査が必要と思われます。
関係機関や保護者と	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に最もふさわしい者が参画しているか	4	3		・児発管や適任職員が参加するようにしていますが、会議が夕方の時間帯に開催されることが多く、利用者さんが活動しているので参加できない職員もいます。伝えてほしいことや聞いてほしいことを参加する職員に伝えていきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	3		・学校、ご家族間で情報に差があることがあり、その都度調整をしています が学校によってはスムーズに調整ができないことがあります。教育委員会を含めて連携について確認し合う必要性を感じます。 ・前年度よりは改善された傾向にあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、保護者や主治医等との連絡体制を整えているか	4	1	2	・ご家族とは常に情報共有をしています。 ・ご家族から主治医が書いた指示書を持参していただき、コピーし保管をしていますが、主治医と十分な連絡体制が取れているとは言えません。 （現在のところ対象者は一名で、今年3月に卒業をすることになっています。）
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4		・相談支援専門員から要請を受け情報提供や会議に参加することが多いです。今年度はそのような会議に参加することはありませんでしたが、相談支援専門員にはモニタリングを含め情報提供をしています。
	24	地域にある専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	6		・以前は医師を始めとする医療機関や各施設職員、学校関係者等が集まって合同研修（はるこの会）に参加したり、医療機関へ見学に行き直接アドバイスを貰うこともありましたが、新型コロナウイルスの影響で研修等の再開の目途が立っていません。 ・幡多地区にある他の放課後等デイサービス事業所とは、重複利用者さんについて必要に応じて連携を取っています。 ・困難事例は市町村、児童相談所、学校、警察等と連携をしています。

の 連 携	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	6	・今年度、障害のない子どもと活動をする機会はありませんでした。 ・事業所独自の保護者アンケートによると、ご家族もあまり必要性を感じていない結果でした。今後、この分野においてどうしていくか議論を深めていきたいと思います。
	26	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	7			・管理者が参加するようにしていますが、部会が開催されていけませんので議論が深まっています。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		・ご家族のお迎えの際は、できるだけその日の様子をお伝えし、また必要に応じて家庭の様子も聞くようにしています。 ・また連絡帳を通して日々の様子が分かるようにしています。 ・ご家族との間に認識の差異がある場合は、必要に応じ関係機関を通しながら調整をしています。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	3	・ペアレントトレーニングとしてきちんと確率したものではありませんが、お子様に対しての悩みがある場合にはお話を聞いたり、簡単なアドバイスをしています。 ・経験の浅い職員はペアレントトレーニングについて分からないので、説明が必要です。 ・利用者さんが頑張ったことや成長していることをご家族の前で多く伝えるようにし、褒められやすい（自己肯定感が高められる）ようにしています。

保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について保護者に説明を行っているか	6	1	・児発管が契約（更新）時にご家族に説明しサインをもらっています。個別支援計画作成時には支援内容の説明もしており、実際行われた支援や様子については他の職員もその都度口頭、または連絡帳で説明をしています。 ・運営規定の詳細については説明をしていません。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	・ご家族から相談を受けると、答えられる範囲で返答をしています。返答できないことは一旦上司等に相談し、改めて返答するようにしています。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者懇談会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	1 ・現在、四万十市にある父母の会は活動休止状態と聞いています。父母の会に興味のあるご家族は隣の活動に参加しているようです。 ・四万十市においても、父母の会は必要ですが、当事業所が開催を促進する取り組みはできていません。 ・当事業所での保護者懇談会は年に2回開催していますが、参加者が少ない状況です。今後の保護者懇談会をどのような内容・日程にしたら多数参加していただけるか検討課題です。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3	・苦情があるとすぐに管理者に報告し、報告書の作成、謝罪、対応等について職員間で話し合いをします。解決に時間がかかることもあります。真摯に対応します。 ・今年度は苦情として取り扱った案件はありません。 ・また苦情があった場合は、保護者懇談会の中で報告するようにしています。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	・定期的に「センター通信」を発行しています。今年度は主に感染症対策の内容が多く、合計で10回ほど発行をしています。 ・個人情報の取り扱いにより、写真や名前等を載せることは難しいです。デイの掲示板や室内の壁に活動の写真・作品等を飾っています。来所された際に見えるようにしています。 ・掲示板については、ご家族の目に留まりやすいように工夫するようにします。 ・行事予定に関しては、避難訓練や保護者懇談会等の事前に計画できている内容は発信していきます。しかし、行事予定に関しては予め発信することによって利用希望が殺到し、定員数を超えた場合利用をお断りしなければなりませんので、行事予定を全て発信することは当事業所の現状としまして難しいです。誕生日会等、参加対象者に関しては、必ず参加できるように日程調整をしております。
	34	個人情報に十分注意しているか	7		・契約（更新）時に、個人情報に関する同意書にチェック、サインをいただいています。個人情報を取り扱う際には、利用者さん各々のチェック項目を確認しながら行っています。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしていることはあるか	7		・言葉が苦手な利用者さんやご家族には、カードや文字（連絡帳）を使用し伝えるようにしています。 ・分かりやすい言葉、短い言葉、声のトーン等に気を付けています。 ・ご家族から聞いた話を「〇〇ということですね」とその場で確認をし、受けるようにしています。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	4 ・新型コロナウイルスにより、今年度は行っていません。
	37	緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	2 ・必要なマニュアルは職員間に周知していますが、ご家族には伝えていないマニュアルもあります。 ・防犯マニュアルは未作成となっています。 ・ご家族にとって必要な内容を分かりやすく作成しお伝えしようと考えています。

非常時等の対応	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	・月に一度（主に土曜日）、併設施設と合同で避難訓練（火災、または地震、風水害）を行っています。 ・今回の保護者向けアンケートより、ご家族は避難訓練実施状況についてあまり理解していないと思われる結果でしたので、今後通信や掲示板に載せていきたいと思います。 ・土曜日だけでなく、当事業所単体で平日にも訓練をしていくように話し合いをしています。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	・法人内に虐待防止委員会を設置しています。委員会の活動の中で職員のストレスチェックや職場内の人間関係といった内容についても調査・分析をし働きやすい環境作りに努めています。 ・定期的に外部講師を招き、困難事例等のケース検討を行っています。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	7		・一名の利用者さんが該当します。ご家族には事情を説明し、承諾書にサインをもらっています。また個別支援計画にも記載しています。 ・今年度対象の方の状態は比較的安定しておりますので、身体拘束の事例はありません。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、保護者からの説明や医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	・食物アレルギーがある場合、ご家族から口頭での説明や、調査用紙に記載してもらっています。 ・医師の指示書の提出はありません。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	5	・事案があれば作成しますが、今年度は事案がありません。 ・どのような場合に（事故・ヒヤリハット）とするのか、再度統一した見直しも必要だと思います。